

平成 29 年度

志木市立宗岡第二中学校グランドデザイン

学校経営方針

- コミュニティスクールとして、学校運営協議会の承認のもと学校経営を行う。
- 生徒一人ひとりに応じてその子の能力を伸ばし、達成感や充実感を持たせる。
- 生徒一人一人の良さを担任だけでなく、すべての教職員が見つめる。
- 生徒が義務教育を修了するにふさわしい学力をつけるため、日々の指導を行う。
- 生徒の発達段階に応じながら、社会生活に必要なルールや社会常識を身につけさせる。
特に、「自制心」「忍耐力」「社会性」「意欲」「計画性」など、ペーパーテストでは測れないが、人間社会に必要な能力を育成する。
- 教職員はすべて「協働」を意識し、チームで活動する。
(教職員の企画・運営への参加=ポジティブな意見表明を期待する)
- 委嘱研究を全員で担い、教職員の資質向上を目指す。
- 教職員は、つらいと思える仕事でも、そこに楽しみを見つけて実践する。(学校では人生の師(ロールモデル)として生徒に接しなければならず、率先垂範が求められる)
- 生徒・保護者・地域の人々に誠意をもって対応する。
- 学校に対する苦情は、「学校への期待」として捉え対応する。ただし、ケースによって学校評議員等とも協議して対応する。
- 個人情報を含む、情報管理の徹底。

生徒の実態

明るく、素直で、元気な挨拶ができて活動的。行事、部活動、ボランティア活動等に積極的に取り組んでいる。

学校教育目標

- 自ら学び考える生徒
- 心豊かな優しい生徒
- 明るく元気な生徒

目指す生徒像

- ・人の役に立ち、思いやりのある生徒
- ・目標を持ち、進んで学ぶ生徒
- ・心身ともに健やかでたくましい生徒

目指す学校像

- ・生徒が通いたい学校
- ・地域、保護者が生徒を通わせたい学校
- ・教職員の働き甲斐がある学校

目指す教職員像

- ・学び続ける教職員
- ・協働する教職員
- ・信頼される教職員

目指す授業像

- ・学習指導要領を基盤とし、創意工夫のある授業
- ・保護者や地域の人にもわかる授業
- ・生徒が安心して学び合う授業

地域の様子

県の南西部、志木市と朝霞市との境に位置し、新河岸川のほとりの自然豊かな環境で農地と住宅が混在している。保護者・地域は学校に協力的である。

平成 29 年度重点目標：「学力・体力の向上を図るため安心して学べる環境を整える」

【学習指導】

- (1) 宗岡第二中学校授業スタイルの徹底
- (2) 指導方法の工夫改善

【生徒指導】

- ・あたりまえをあたりまえに行える、熱意、頑張りを強化する、教師の褒め言葉。他

【校内研修】

- ・一人年間一回以上の研究授業、又は公開授業の実施。他

【環境整備】

- ・安心、安全な教室環境整備
- ・潤いのある掲示整備
他

【地域連携】

- ・“宗二中コミュニティスクール連絡協議会”で小中連携を一層密にする。

スローガン 元気なあいさつ、歌声響く、華のある学校

宗二中地区CS連絡協議会育てる子供像「地域を愛し、誇りを持って、地域に貢献する子供」